

平成26年2月期 第2四半期決算参考資料

米久株式会社
(東証一部：2290)

1. 当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えた主な項目 1)~5)は対前年同期比較

- 1) 輸入食肉の価格上昇により、加工品の製造原価が上昇、食肉取引の収益を圧迫
- 2) 新製品の発売、輸入品の好調、テレビコマーシャルの放映も奏功し、加工品の売上が増加
- 3) 採算改善を重視した営業活動により、食肉は売上が減少したも収益性は改善
- 4) 食肉相場は、豚肉・牛肉・鶏肉の全てにおいて前年同期を上回る水準で推移
- 5) 物流費などの削減により、売上高販管費率が低下
- 6) 持分法適用先の収益低下により、持分法による投資損失を計上
- 7) 不採算事業の整理に伴い、特別損失を計上

2. 当第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)の連結業績

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	業績予想	金額単位 百万円
					H25/2月期通期
売上高	69,162	70,008	△1.2	73,000	142,372
営業利益	137	△250	-	610	484
経常利益	74	△320	-	530	322
四半期純利益	△158	△401	-	0	△221
EPS (円)	△6.25	△15.52	-	-	△8.64
ROE (%)	△0.4	△1.1	-	-	△0.6
ROA (%)	0.6	△0.1	-	1.4	1.6

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

3. 第2四半期連結累計期間の連結業績推移

	金額単位 百万円				
	H22/2期 第2Q	H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q	H25/2期 第2Q	H26/2期 第2Q
売上高	82,234	65,653	68,103	70,008	69,162
営業利益	1,689	807	953	△250	137
経常利益	1,691	826	1,072	△320	74
四半期純利益	467	505	739	△401	△158
純資産	40,956	37,001	37,502	35,504	36,178
総資産	80,541	62,685	63,646	61,206	62,479
一株当たり純資産:円	1,227.75	1,332.23	1,351.51	1,397.40	1,423.97
一株当たり四半期純利益:円	16.28	18.24	26.69	△15.52	△6.25

4. 第2四半期連結累計期間セグメント別業績の二期比較

金額単位 百万円

	平成25年2月期 第2Q		平成26年2月期 第2Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	28,204	135	29,207	268
食肉事業	40,231	△380	38,902	△140
小計	68,436	△244	68,109	127
その他	1,572	△6	1,053	10
合計	70,008	△250	69,162	137

5. 連結子会社一覧

金額単位 百万円

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	10,682	6,684	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	991	498	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,707	3,231	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		15,381	10,413	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,497	1,202	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		1,497	1,202	
米久おいしい鶏(株)	100.0	5,337	4,939	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	1,085	361	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	1,972	594	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,406	605	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	643	1,055	養豚
食肉供給会社計		10,446	7,556	
御殿場高原 ビール(株)	84.9	773	755	地ビールレストランの経営
その他の会社計		773	755	
合計		28,099	19,927	

持分法適用関連会社2社

・加工品・食肉事業
・食肉事業

MIY(株)

ときめきファーム(株)

6. 当第2四半期連結累計期間の業績

(1) 売上高

加工品事業では、ハム等は、ロースハムの売上が減少したものの、ベーコン・ローストビーフが好調に推移した結果、全体の売上高は増加いたしました。

ソーセージは、国産コンシューマ商品の「御殿場高原あらびきポーク」や「あらびきフランク」が着実に増加いたしました。また、米国子会社製品の輸入販売も好調に推移したことから、全体の売上高は増加いたしました。

デリカは、外食やコンビニエンスストア向けの業務用商品の販売が好調に推移した一方、一部商品の減少により全体の売上高は前年並みとなりました。

食肉事業では、採算改善を重視した営業活動などを進めた結果、売上が減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、加工品事業は292億7百万円、食肉事業は389億2百万円となり、全体では前年同期に比べ8億46百万円減少し、691億62百万円(1.2%減)となりました。

(2) 売上総利益

採算改善を重視した営業活動の実施に加え、食肉相場が豚肉・牛肉・鶏肉の全てにおいて前年同期を上回る水準で推移し、収益改善に貢献したものの、輸入原料価格や電気料金の上昇の影響が大きく、売上総利益は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期に比べ3億02百万円減少し、90億3百万円(3.2%減)となりました。

(3) 販管費、営業利益

物流面の効率化などにより販管費を削減した結果、営業利益は、加工品事業では2億68百万円(前年同期は1億35百万円)、食肉事業では1億40百万円の損失(前年同期は3億80百万円の損失)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販管費は前年同期に比べ6億91百万円減少し、88億65百万円(7.2%減)となり、営業利益は3億87百万円増加し、1億37百万円(前年同期は2億50百万円の損失)となりました。

(4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ46百万円増加した一方、持分法による投資損失は59百万円増加し、営業外費用は39百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期に比べ3億94百万円増加し、74百万円(前年同期は3億20百万円の損失)となりました。

(5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別利益は、前年同額の15百万円であり、また不採算事業の整理に伴い、特別損失が58百万円増加しました。

これらの結果、税金等調整前四半期純損失は40百万円(前年同期は3億77百万円の損失)となりました。なお、法人税等は93百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純損失は、1億58百万円(前年同期は4億1百万円の損失)となりました。

7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

1)～5)は対前年同期比較

- 1) 輸入原料価格の高止まりが予想される中、販売価格の改定を実施、売上の増加と収益性の改善を見込む
- 2) 加工品生産会社の生産効率を高め、収益力を向上
- 3) コンシューマ商品の販売強化により、収益の増加を計画
- 4) 食肉相場の上昇により、食肉事業の業績改善を見込む
- 5) 取引の採算改善や経費削減の更なる推進により、収益性を改善

8. 通期業績予想

金額単位 百万円

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	150,000	142,372	5.4
営業利益	2,050	484	322.8
経常利益	2,000	322	520.4
当期純利益	700	△221	-
E P S (円)	27.32	△6.25	-

9. 設備投資及び減価償却費

(1)設備投資額

金額単位 百万円

		金額	主な内容(通期予想では下半期における内容を記載)	
連結	上半期実績	1,832	米久おいしい鶏	鶏舎建設 892
			米久かがやき	加工品生産機械他 144
			米久デリカフーズ	包装ライン効率化他 157
	通期予想	3,319	米久おいしい鶏	鶏舎建設 他 1,277
			米久かがやき	加工品生産機械他 570

(2)減価償却費

金額単位 百万円

		金額
連結	上半期実績	1,009
	通期予想	2,162